

比較表

項目	レンタル	リース	一括購入
初期費用	かからないことが多い	かからないことが多い	本体購入費用が必要
月額費用	定額（消耗品費等を含む場合が多い）	定額（本体価格＋リース料率）	かからない
消耗品	料金に含まれることが多い	別途購入が必要な場合がある	別途購入が必要
点検・管理	業者が代行してくれるプランが多い （日常点検までサポートする場合も）	自己管理が基本 （オプションでサービスを追加できる場合も）	自己管理が基本
会計処理	経費処理（簡単）	経費処理（簡単）	資産計上が必要（煩雑）
災害・盗難補償	オプションで加入が必要な場合が多い	通常付帯している	なし
契約期間	5年～8年など	5年など	なし（所有）
総額	リースよりも割高になる傾向	割高になる傾向	最も安い
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・経費処理が簡単 ・予算が立てやすい ・管理の手間が少ない ・レンタル期間を自由に設定できる ・途中解約が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・経費処理が簡単 ・災害や盗難リスクに対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・総支払額が最小
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・総支払額が割高になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中解約不可 ・消耗品は別途購入が必要なことが多い ・総支払額が割高になる ・修理代が別途かかる場合あり ・リース期間はレンタルほど自由設定ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の点検・管理が必要 ・消耗品の期限管理が必要（2、4年ごと） ・修理費用が自己負担 ・会計処理が煩雑（減価償却費・固定資産税）
おすすめ	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品の管理の手間を省きたい方 ・初期費用がなく、支出管理がしやすい ・途中解約の可能性がある方 	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品の管理の手間を省きたい方 ・初期費用がなく、支出管理がしやすい 	コストを最優先し、全て自己管理できる方